

軒下用 Seamlessline LED照明器具/PWM方式調光兼用型



S03-LED (N)-FPD
(100/200V共用, 50/60Hz共用)

取扱説明書

保存用

23年09月07

お買い上げありがとうございました。ご使用前に必ずお読みください。
取付工事には電気工事士の資格が必要です。必ず電気工事店へご依頼ください。
この説明書は取付工事が終わりましたら製品をご使用になるお客様に必ずお渡しください。

営業本部/東京都品川区西五反田1-13-5 : 03-3492-4460 最新の連絡先はホームページhttp://www.dnlighting.co.jpをご確認ください。

安全上の注意

警告

- 取付工事や清掃のときは、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
- 万一、煙がでたり、変な臭いがあるなどの異常状態が発生した場合はすぐに電源を切ってください。そのまま使用すると、感電、火災の原因となります。また、異常状態がおさまったことを確認してから工事店、電器店に修理を依頼してください。
- 器具の分解、改造は絶対にしないでください。故障、落下、感電、火災の原因となります。
- 器具に搭載している直流電源装置やLEDモジュールの部品には、絶対に触れないでください。感電の原因となります。
- 紙や布や断熱材などでおおったり、燃えやすいものに近づけないでください。故障、火災の原因となります。
- 器具の隙間に金属類や燃えやすいものを差し込まないでください。感電、火災の原因となります。
- 器具を造営材などへ埋め込んで使用しないでください。放熱が悪くなり、故障、火災の原因となります。
- 取付工事は、取扱説明書にしたがって確実にこなしてください。感電、火災、ケガの原因となります。
- 電源送り容量は合計5Aまでとし、器具間での電源送りによる連結可能灯数は、取扱説明書の「ご使用上の注意」にしたがってください。容量オーバーした場合、火災の原因となります。
- 器具の取り付けは、器具の質量に耐えるところに取扱説明書にしたがって確実にこなしてください。取り付けに不備があると落下し、感電、ケガの原因となります。
- 電源接続の際は、取扱説明書にしたがって確実にこなしてください。接続が不完全ですと、感電、火災の原因となります。
- アース工事は、電気設備技術基準にしたがって確実にこなしてください。アースが不完全ですと感電の原因となります。

注意

- 電源電圧は、AC100V±6VまたはAC200V±20V以内で使用してください。LEDモジュールの短寿命、不点灯、チラツキ、直流電源装置の故障、火災の原因となることがあります。
- 下記の使用環境・条件下では使用しないでください。早期の錆発生、故障、落下、ケガ、感電、火災の原因となることがあります。
 - 1)大雨等で冠水するおそれのあるところ
 - 2)浴室やサウナなど常時高温高湿になるところ
 - 3)振動、衝撃のあるところ
 - 4)風避けのない建物の屋上、橋梁など、明らかに強風が吹く場所・地域(離島含む)と判断されること
 - 5)腐食性雰囲気のあるところ
 - 6)引火する危険性の雰囲気(ガソリン、可燃性スプレー、シンナー、ラッカーなど)
 - 7)粉塵の多いところ
 - 8)海岸に近い塩害地域など
 - 9)塩素を使用している屋内プールなど
 - 10)車両などの荷重がかかること
 - 11)人がぶら下がったり、足で踏みつけたりするおそれのあるところ
 - 12)草や木などが成長し、器具が覆われるようなところ
 - 13)凹地など水に浸かるところ
 - 14)つららが発生するような寒冷地や積雪地域
- 過度な荷重をかけないでください。故障、落下の原因となることがあります。
- 器具の樹脂部分に塗料などを塗らないでください。樹脂部分が劣化し、故障、感電、火災の原因となることがあります。
- 器具の温度上昇は収納部の容積や器具と周囲の造営材との距離に影響されますので、放熱には十分注意してください。放熱が悪いと、故障、火災の原因となることがあります。
- 暖房機器、火気などの上や近接したところでは使用しないでください。故障、火災の原因となることがあります。
- 床、什器等の清掃の際は、器具に水や薬品がかからないように注意してください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
- 器具を被照射面に近接した位置に取り付けしないでください。被照射面の変色や変質、火災の原因となることがあります。
- 濡れた手でコネクタを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 可燃性造営材に取り付ける場合には周囲の造営材から30mm以上離して設置してください(取付面は除く)。火災の原因となることがあります。
- 取付穴をあけないでください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
- 点灯している器具を長時間直視するのはおやめください。目を痛めたり、目に悪影響を及ぼすおそれがあります。
- 変形したサドルは使用しないでください。器具落下によるケガの原因となることがあります。
- 落下防止ワイヤー(付属)を必ず使用してください。落下によるケガの原因となることがあります。
- 誤って落下させた器具は使用しないでください。故障、火災の原因となることがあります。
- その他、工事上の制約がありますので、器具の取り付けに際しては「電気設備技術基準」にしたがって施工してください。

ご使用上の注意

- 周囲温度は5℃～35℃の範囲で使用してください。不点灯、チラツキ、故障の原因となることがあります。
- 器具間の電源、信号送りをする場合は、電源線の渡りケーブルDKW(別売)、調光信号線の渡りケーブルCKW(別売)を使用し、連結使用可能灯数は100Vで使用の場合は10灯以内、200Vで使用の場合は20灯以内としてください。
- 点灯および消灯直後にLEDモジュールからの熱による金属の膨張収縮で、きしみ音が発生する場合がありますが、安全上問題ありません。
- 近くで赤外線リモコン機器を使用しないでください。リモコン機器が正常に動作しないことがあります。リモコンの受信部には、LEDモジュールの光が入らないよう配慮してください。
- 清掃する際は、シンナーやベンジンなどの溶剤を使用しないでください。水または中性洗剤を湿らした柔らかい布でよく絞ってから拭いてください。
- 器具を並列に取り付ける場合は、器具1台分の間隔以上離してください。熱干渉により光束が落ちたり、直流電源装置やLEDモジュールの短寿命の原因となることがあります。
- 調光信号線にはCPEV線φ0.9×1.2mmまたはφ1.2×1.1mmを総配線長100m以内で使用してください。
- 電源波形に歪みや変動があるときはチラツキを生じたり、照明器具に若干のうなり(音)を生じることがあります。
- ラジオやテレビなどの音響および映像機器の近くで点灯すると、雑音が入ることがありますのでご注意ください。雑音が入るときは器具から1m以上離して使用してください。
- LED素子は、経時的に光色、明るさの(チラツキ)が発生する場合があります。ご了承ください。
- LED素子には(チラツキ)があるため、同一形式商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合がございます。ご了承ください。
- 調光する際は、指定調光器を必ず使用してください。
- 施工方法、使用方法によっては、電波障害が生じることがありますので次の事項を守ってください。
 - ①器具およびその配線と通信ケーブルなどは、近接しないように施工してください。
 - ②器具およびその配線と電子機器とをあまり近づけないようにしてください。
- 器具に接近してワイヤレスマイクを使用すると、雑音が入り正常に動作しない場合があります。また、赤外線リモコン機器や盗難防止センサーを近接して使用しますと機器が正常に動作しない場合があります。
- 交換の際は器具ごとと交換してください。LEDモジュールやLED素子単体では交換できませんのでご注意ください。
- 調光用照明器具は、直流電源装置内の使用部品の微弱振動により若干のうなり(音)を生じます。竣工引渡し直後の未使用の部屋などにおいては、うなりが大きく聞こえることがあります。家具や空調が設置された実居住空間の中では暗騒音によるマスキング効果によって、うなり(音)がかき消され聞こえなくなりますが、特に静かな環境が要求される場所(録音スタジオや寝室など)への取り付けの際は、うなり(音)を考慮して設置してください。
- 点灯直後わずかに音がすることがありますが異常ではありません。
- 漏電遮断器の種類によって直流電源装置からの高周波の漏洩電流の影響により漏電遮断器が動作する場合があります。この場合には高周波対応型漏電遮断器を使用してください。
- 被照射物の塗料や顔料の特性によって、LEDの可視光により退色や変色する場合があります。
- 直射日光のあたる場所および直接雨のかかる場所では使用しないでください。器具の過熱、故障、短寿命の原因となることがあります。

保守・点検

- 照明器具および関連部品(直流電源装置・ランプ・モジュール含む)には寿命があります。
- 設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。(JIS C 8105-1解説による)
※LED光源は寿命がきても、暗くなりませんが点灯し続けます。点灯できるからといって継続して使用が可能というわけではありません。
- 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
- 1年に1回は、「安全チェックシート」により、自主点検してください。(弊社のホームページまたは製品カタログに掲載)
- 3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。
- 点検せずに長期間使用し続けると、まれに、発煙・発火・感電などに至る恐れがあります。

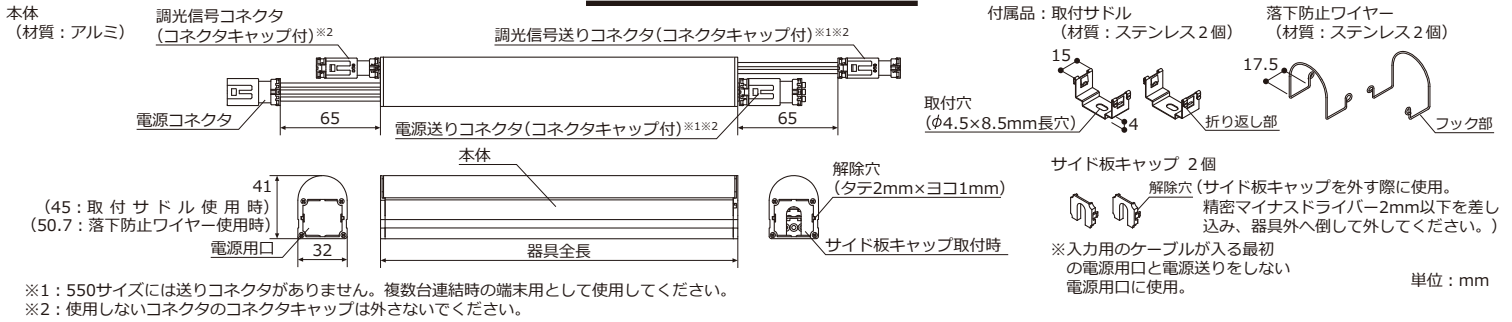
(仕様と定格は予告なく変更することがあります。)

定格

形式	全長 (mm)	本体質量 (kg) 拡散タイプ/集光タイプ	入力電圧 (V)	入力電流 (A)	入力電力 (W)
S03-LED(N) 550□□-FPD	550	0.57/0.63	100/200	0.15/0.08	15
S03-LED(N) 850□□-FPD	850	0.85/0.94	100/200	0.21/0.11	21
S03-LED(N) 1000□□-FPD	1000	0.92/1.03	100/200	0.26/0.13	25
S03-LED(N) 1250□□-FPD	1250	1.05/1.18	100/200	0.31/0.15	30
S03-LED(N) 1500□□-FPD	1500	1.18/1.34	100/200	0.36/0.18	35

- 周波数50/60Hz共用
- S03-LED(N)-FPDでの電源送りは100V時最大10灯、200V時最大20灯以内としてください。
- 形式のNは集光タイプ、N無しは拡散タイプ、□□は色記号(NはLED昼白色、WはLED白色、WWはLED温白色、L30、L28はLED電球色)、Fは電圧100/200V共用、PDは調光

各部の名称と外形寸法



取付方法

注意 電源線と調光信号線は間違えないように結線してください。間違えて結線した場合、照明器具が一瞬で故障して調光ができなくなります。電源コネクタ(電源送りコネクタ)の電線を無理に引き出さないでください。器具内配線が外れた場合、故障して不点灯となります。

1. 取付サドルの取付け

- 付属の取付サドル2個を器具の長さに応じて取付ねじ(別途必要)で取り付けてください。(取付ねじは、呼び径3.5または4mm、長さ20mm以上、ステンレス製)

2. 連結時の配線

- 器具を近接して設置する場合は、各器具のコネクタキャップを取り外し、送りコネクタとコネクタを接続してください。
- 器具間の配線を延長する場合、電源渡りケーブルDKW(別売)／調光信号渡りケーブルCKW(別売)を使用してください。

※単体使用または末端の器具は、コネクタキャップを付けたままの送りコネクタを器具内へ収納してサイド板キャップを取り付けてください。

3. 器具の取付け

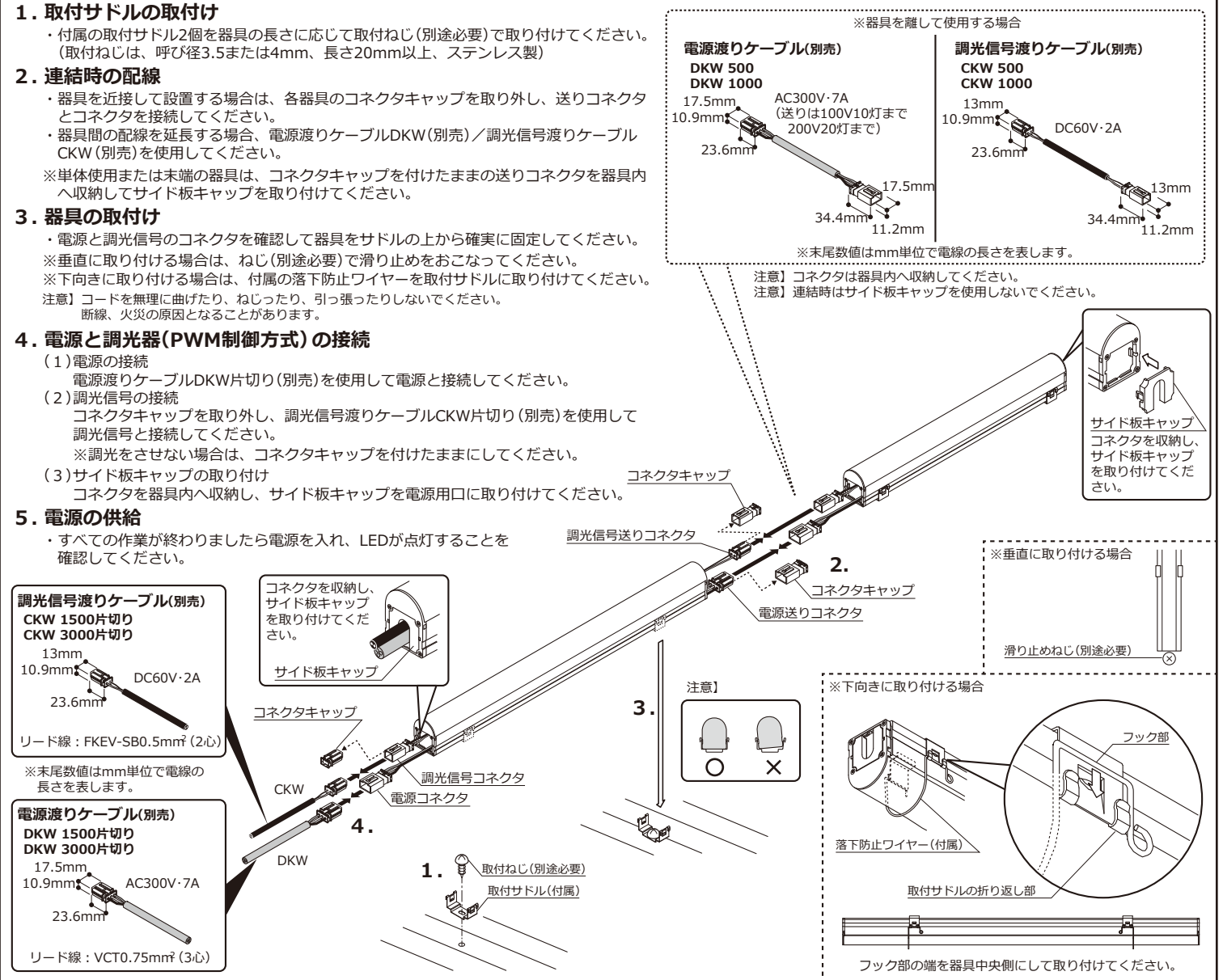
- 電源と調光信号のコネクタを確認して器具をサドルの上から確実に固定してください。
- ※垂直に取り付ける場合は、ねじ(別途必要)で滑り止めをおこなってください。
- ※下向きに取り付ける場合は、付属の落下防止ワイヤーを取付サドルに取り付けてください。
- 注意] コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。断線、火災の原因となることがあります。

4. 電源と調光器(PWM制御方式)の接続

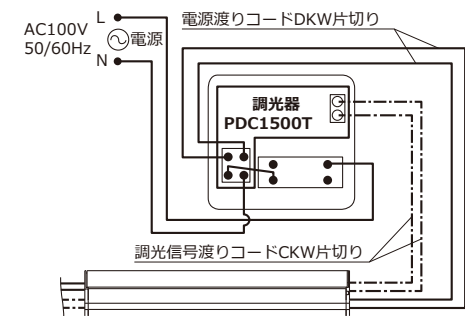
- 電源の接続
電源渡りケーブルDKW片切り(別売)を使用して電源と接続してください。
- 調光信号の接続
コネクタキャップを取り外し、調光信号渡りケーブルCKW片切り(別売)を使用して調光信号と接続してください。
※調光をさせない場合は、コネクタキャップを付けたままにしてください。
- サイド板キャップの取り付け
コネクタを器具内へ収納し、サイド板キャップを電源用口に取り付けてください。

5. 電源の供給

- すべての作業が完了したら電源を入れ、LEDが点灯することを確認してください。



結線図(PDC1500T)



適合調光器	品名	形式/モデル番号(ルートロン)	接続使用可能灯数		
			AC100V	AC200V	
推奨調光器	ウォールボックス(ディーバ)	PDC1500T	25灯まで ^{※3}	—	
		PDC1000S	25灯まで ^{※3}	—	
推奨調光器	ルートロン製	DVF-153P-JA5/6+GRX-PWM(インターフェース)	25灯まで ^{※3}	—	
		GRX-350★-JA+GRX-PWM(インターフェース) QSGR-★PJA+GRX-PWM(インターフェース) QSGR-★★EJA+GRX-PWM(インターフェース)	25灯まで ^{※3}	50灯まで ^{※3}	
		LCP128	LCP128+TVMモジュール	20灯まで ^{※3}	20灯まで ^{※3}
		LCP128	LCP128+PWM250モジュール	25灯まで ^{※3}	50灯まで ^{※3}
推奨調光器	PowPak PWM調光モジュール	RMP-5PWM-DV-B+Picoワイヤレスコントロール RMP-5PWM-DV-B+Radio Powr Savrワイヤレス人感センサー	9灯まで	19灯まで	
		RMP-5PWM-DV-B+Radio Powr Savrワイヤレス屋光センサー	9灯まで	19灯まで	

注意] 調光範囲は右記指定調光器との組合せで5%~100%です。
 注意] 調光器の取扱説明書を必ず読んでください。調光範囲5%~100%。
 注意] 右記以外の調光器で使用する場合はご相談ください。

★ゾーンの数に合わせて2、3、4、6の数字が入ります。 ★★ゾーンの数に合わせて4、6の数字が入ります。
 ★★ゾーンの数に合わせて6、8、16の数字が入ります。
 ※3 電源1系統は100Vは10灯まで、200Vは20灯まで。
 注意] 合計灯数は調光器メーカーの取扱説明書で指定した定格容量以下でご使用ください。